

三条別院のご案内

三条別院に想う

▲今回は五月の慶讃法要お待ち受け大会で司会をされた山崎さんにお話を伺います。

二〇二二年五月二十九日、三条別院にて三条教区宗祖親鸞聖人御誕生八五〇年・立教開宗八百年慶讃法要お待ち受け大会が勤修されました。

初めは先輩から、お待ち受け大会の司会のお役目を指名してもらえた時には、お待ち受け大会がどんな雰囲気で開催されるのかをよく知らなかった。特に関心も考へもせず引き受けました。そしてお待ち受け大会本番に近づくにつれ打ち合わせ会議などで出席される方々はこれまで三条別院に深く携わってきたベテランの方々ばかりで、これは絶対に失敗出来ない。と樂觀的だった気持ちが一気に不安に変わりました。

お待ち受け大会前夜は新門様の歓迎会が開催されました。当日の予行練習も兼ねて歓迎会の司会もさせていただきました。職員さんに原稿を用意してもらい万全の準備をしてみました。結果は散々でした。原稿の言葉は間違えるし、言葉もスムーズに話せない。「ほんとにこの男が総司会で大丈夫か?」と会場で心配の雰囲気。が漂い黄信号がとりました。歓迎会終了後はホ

真宗大谷派三条別院

TEL : 0256-33-0007

Email : sanjo-beitsuin@wing.ocn.ne.jp

テルに戻り、このままだと明日のお待ち受け大会を自分のせいで大変な事にしてしまうと危惧してホテルの部屋で総司会の当日原稿を何度も読み返し練習しました。

そして、お待ち受け大会当日を迎えます。天気は快晴。気温も高かったです。

最初はお待ち受け大会記念植樹式が開催されました。とても暑い中でしたが植樹式担当の方々を中心に無事に植樹式を終えることができました。

そして本堂に戻りいよいよお待ち受け大会本番が始まります。

各地方から三百人以上の人が集まり、本堂内は聞法を求めている方々の熱気に包まれて私はこれまで感じたことがない緊張とプレッシャーを感じました。

自分自身も想いに応えなくてはならないと自分を奮い立たせて、そこから何とか当日の司会を無事に失敗なく終えました。

改めて総司会を経験して感じることは、三条別院の法要はたくさんの方々への思いの結晶であり、一つのお待ち受け大会の中で沢山の方々がお待ち受け大会を成功させたいと結束していることに自分は感激しました。本当にいい経験でした。余談ですが、自分はお待ち受け大会の翌日に東本願寺に用事があり本山の境内を歩いていると、

たまたま新門様と本山でお会いする機会がありました。
「昨日の三条別院のお待ち受け大会は本当に素晴らしかったです」とお褒めの言葉をかけて頂きました。

山崎 超氏(第十一組淨福寺)



【大谷裕新門と庭講によるハナミズキ記念植樹式で司会する山崎氏(中央)】

○次回の「三条別院に想う」は、

関本 秀次郎 氏

よりご執筆いただきます

▲次回は九月の彼岸会で精進カレーをお願いした、酒場カンテツのマスターです。YOUTUBEチャンネル「燕三条TV」等、多方面で活躍されています。三条に対する想いと、三条別院への想いを、執筆していただきます。



**宗祖御誕生八百五十年立教開宗八百年
慶讃定例法話会を九月から再開**

毎月十三日の闡如上人のご命日の定例法話会を宗祖親鸞聖人御誕生八百五十年・立教開宗八百年慶讃お待ち受け事業として九月より再開いたしました。

南無阿弥陀仏

人と生まれたことの意味をたずねていこう

九月の講師は北條 頼宗 氏（高田教区第六組 照行寺住職、前高田教区教区会議長、前高田教区 教化幹事長）でした。慶讃テーマ「南無阿弥陀仏 人と生まれてきたことの意味をたずねていこう」についてを、五十年前の法要のスローガン「生まれた意義と生きる喜びをみつげよう」についても触れながら、今回のテーマに「南無阿弥陀仏」という名号がだされている意味をどのように受け止めるのかをお話しされました。法話の後に、旧御堂で座談会も行われました。



【北條頼宗 氏】

◆十月の講師

水嶋 聡 氏（高田教区光徳寺）

◆日 時 十月十三日（木）

午後一時三十分より

午後四時三十分

（勤行、感話、座談あり）



【水嶋 聡 氏】

◆今後の講師

十一月 富沢 慶栄 氏（第二十一組超願寺）

十二月 平等 良香 氏（福井教区徳永寺）

二〇二三年

二月 田澤 一明 氏（第十九組明誓寺）

三月 渡邊 学 氏（第二十三組明正寺）

四月 黒田 進 氏（長浜教区満立寺）

五月 井上 円 氏（高田教区浄泉寺）

六月 藤場 芳子 氏（金沢教区常讃寺）

報恩講儀式作法講習会を開催します

十一月五日から八日まで、三条別院お取り越し報恩講がお勤まりになります。報恩講をお迎えするにあたり、事前に内陣所作・出退作法について詳しい講義・習礼を開催いたします。質疑の時間なども設けておりますので、是非ご参加ください。

◆開催日：十月二十日（木）

◆場所：三条別院

◆講師：安藤栄寿氏

（第二十一組勝樂寺住職・元本山定衆）

内容：下臈出仕・退出・和讃本の扱いを中心とした内陣所作・出退作法

※1 はじめて出仕される方も安心してご参加ください

※2 院議会議員・教区会議員の方に報恩講への出仕をお願いしております。是非ご参加ください。

◆日程

十五時 開会式 講義

十六時 着替え、実技 十七時 閉会式

持ち物：『真宗の儀式』（東本願寺出版部）

服装：間衣、輪袷袷、小念珠（講義）

白服・裳附・五条袷袷・差貫・中啓・半装束念珠（実技）

※装束は報恩講当日着用のもの。衣体の確認を希望される方は、事前にご連絡ください。

◆申込：十月十四日（金）必着で報恩講のご案内封筒内のハガキにご記入の上、ご返送をお願い

申し上げます。また、メールでの出欠もお受けします。sanjo-betsuin@wing.ocn.ne.jp（ホビー）
ご連絡いただければ幸いです。



【後座退出は楽喚鐘が止まってから。忘れがちな後座の作法についても丁寧な指導があります。ぜひご参加を】

有志の会庭講・秋の別院奉仕研修

暑さがまだ厳しい九月十三日、風間新会長の指揮のもと刈り込み作業、除草作業、落ち葉掃き作業を行いました。来月は、お取り越し報恩講直前です。秋の奉仕研修と並行して作業を行う予定となっております。

なお、秋の奉仕研修（お磨き・庭清掃）は十月十二日（水）、十七日（月）、十九日（水）の午前九時から午後一時までです。昼食を用意するので参加希望の方はご連絡ください。



御正忌団参中止のお知らせ

十一月二十七日から二十九日にかけて計画していた本山御正忌団体参拝について、一次締切時において参加者が僅少でしたので、残念ですが、中止の決定をさせていただきました。

宗祖御命日のつどい

宗祖親鸞聖人の御命日であります毎月二十八日に「御命日のつどい」を本堂にて、日中法要と法話、その後、座談会の場を開いております。どなたでもお参りいただけます。皆様のご参詣をお待ち申し上げます。

なお、前日（二十七日）はお速夜法要を、午後一時三十分よりお勤めしております。

◆日 時 十月二十八日（金）午前十時より

◆会 場 三条別院 本堂

◆お勤め（御命日 日中法要）

文類偈 行四句目下

念仏讚 洵五

和 讚 回口 次第第六首

回 向 願以此功德

◎今月の法話講師

十月 八田裕治氏、八田摩矢子氏（第十七組淨福寺）

御文五帖目二十通「女人成仏」

▲本年も身近な御聖教である『御文』五帖目について継続して、聞いていきます。

◆今後の講師一覧

十一月 倉井光弥氏（第十一組養泉寺）

十二月 北島栄誠氏（第十一組長福寺）

フー ド バ ン ク を 継 続 中

― 九月の別院でのフー ド ド ラ イ ブ に

ご協力いただいた御寺院・御門徒―

第二十二組慶誓寺、第十七組光照寺

その他匿名含め多くの方々に「協力いただき御礼申し上げます。次回引き取り予定日は十月二十四日（月）です。」

声明教室のご案内

◇開催日

八月二十三日（火）※夜の部のみ（済）

九月十二日（月）（済）・十月十七日（月）

十一月十四日（月）・十二月十三日（火）（全画）

◇時 間 昼の部：三時～五時

夜の部：六時～八時

◇講 師

昼の部：三条別院 列座

夜の部：長田 淨見氏（第十六組 善興寺）

◇講習内容

昼の部：正信偈 草四句目下（赤本の内容）

夜の部：浄土和讃 繰読み（声明集の内容）

◇持ち物

昼の部は赤本、夜の部は『大谷聲明集上』、『真宗大谷派声明集』のうちどれか一冊、念珠

◇参加費 五百円/回

そ の 他 の 講 座 案 内

◎別院書道教室（生徒募集中！）

〔月二回第一、第四水曜日、午後六時三十分～八時〕

講師 木原光威氏（新潟県書道協会理事）

月謝 三、二〇〇円（テキスト代含む）

随 時 募 集 中

◎有志の会庭講「毎月十三日」

ご一緒に別院のお庭を整備していきませんか？

◎有志の会花講

花講は別院の立花を、有志の会は別院行事に併せた奉

仕活動や季節ごとの懇親会を行っております。

◎三条別院巡回

三条別院から御本尊（絵像）をお迎えして、聞法会を開催しませんか？

◎別院奉仕研修について

半日の奉仕研修等にも対応しておりますので、ぜひお気軽に奉仕団を組んでみてください。

【奉仕研修冥加金】

一人あたり半日（午前または午後 五百円、一日千円）

一泊二日は上記の冥加金に順じて半日五百円で計算する。

【その他実費でいただくもの】

①講師謝礼。なお、列座によるお内仏のお給仕・法話は研修冥加金に含まれる。②シーツ等クリーニング代千円

③食事代（ご要望等）ございましたらご相談承ります。

◆◆編集後記◆◆

十月は宗徧流茶会が別院で開催される。以前隣の人の真似をすればいいと気軽に茶席を覗きにいったら、着物の人はここですと凄まれ、無理やり正客の隣（次客）に座らされて、みんなと違ってお菓子とみんなと違う器がでてきて、青くなら思わず念仏がでた…。さて、お取り越し報恩講が近づいてきた。僧侶の方はぜひ一座でもご参動いただきたい。巡講があたらないように、後座の出仕を希望する声もある。しかし前の人についていけばいいと思っていたら、自分が後座の先頭だったということもよくある。控室に出仕・退出作法についての資料を用意しようと思うが、ぜひ事前の講習会にもご参加ください。もちろん時間があわなければ個別にご相談いただいても大丈夫です。みんなで勤めしましょう！（齋木）